**科目名　日本語資格対策Ⅰ（中上級）**

1. **、②　16コマ　32時間　1コマ/W）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **担当教員** |  | | | | |
| **科目の種類** | 一般 | **単位区分** | 必須 | **単位数** | 2 |
| **授業方法** | 講義 | **開講学期** | 前期 | **学年** | 2 |
| **学科・コース** | 情報処理技術学科、情報システム学科、  グローバルITメディア学科、  メディアコミュニケーション・スポーツテクノロジー学科 | | | | |

**授業概要**

日常生活場面で使われる日本語に加え、より幅広い場面で使われる日本語を身に着け、日本語能力試験N2に合格することを目的としたもの

**カリキュラムにおけるこの授業の位置付け**

日本語学校で身に着けた初級日本語を基礎とし、さらにより幅広い場面で使われる日本語を身につけ、日本語による専門的な学習や業務に取り組むための基礎作りの中盤段階に当たるものである。

**授業項目**

(1)　自動詞・他動詞

(2)　複合動詞①

(3)　複合動詞②

(4)　いろいろな意味のある動詞

(5)　い形容詞、な形容詞

(6)　副詞

(7)　対義語①

(8)　対義語②

( 9)　同義語、慣用句

(10)　擬音語・擬態語

(11)　カタカナ語①

(12)　カタカナ語②

(13)　文字語彙実践ドリル

(14)　接続表現

(15)　文末表現

(16)　こと・もの・わけ・ところ

**授業の進め方**

授業時間内には講義と演習を交互に行う．ほぼ毎回，授業終了時に小テストを課す。

**授業の達成目標（学習・教育到達目標との関連）**

中級レベルの日本語の言語知識を習得し、上級レベルの日本語にも抵抗なく触れ始め、より幅広い内容の長い文章や会話もある程度理解できるようになる。

日本語能力試験N2に合格する。

**成績評価の基準および評価方法**

日本語能力試験受験結果（80%）、出席率および授業態度（20%）として評価

**教科書**

下記のテキストを授業の柱とし、学生のレベルに応じて講義資料を配布し，その資料に沿って授業を進める．

Jリサーチ出版　日本語能力試験N2 直前対策 ドリル＆模試

**参考書**

日本語能力試験対策問題集など。

**実務経験**

**備考**

特になし